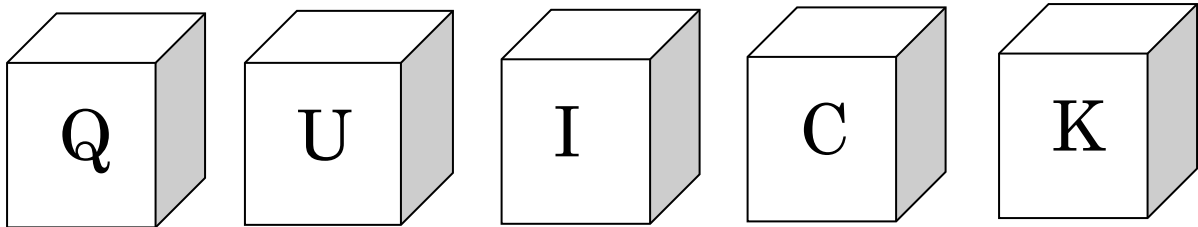


Quick Check

▸ Grammer & Usage



>> はじめての Power Automate for Desktop

～ フローデザイナーでの基本操作を確認してみよう

最近ではニュースや職場で、RPA といったキーワードで業務効率化の話題を耳にする機会がある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。一昔前であれば、自動化といえば Excel でマクロを組むといったイメージをお持ちの方も、今後、定型業務などの手順が決まっている業務の自動化で、Power Automate 等の RPA(Robotic Process Automation)ツールを使用する機会もあるかもしれません。

RPA は訳すと「ソフトウェアによる業務の自動化」という意味合いになります。「AI と何が違うの？」と思う方もいらっしゃると思いますが、AI は判断ベースの自動化、RPA はルールベースの自動化で、例えば、メールの件名が〇〇だったら××のフォルダにファイルを添付する、や「業務システム→Excel→Outlook」の流れで行っている一連の業務を自動化するといったように、大方の手順が決まっているものを自動化することができます。

ここでは、Microsoft が提供する業務自動化 RPA ツールである Power Automate for Desktop について基本操作を確認していききたいと思います。

Power Automate とは？ ～ フローで作業を”自動化”



Power Automate

業務フローを使って、作業を”自動化”する

クラウド、オンプレミス問わず様々な作業を自動化できる

> Power Automate Desktop :

初めての方向け！

～ Windows10以降、標準搭載されたデスクトップ用のPower Automate

> Power Automate ポータル:

～ フローの作成、管理、監視等の全てにアクセスできる

> Power Automate モバイル:

ここからは始める「Power Automate」～基礎事項の確認をしていきます

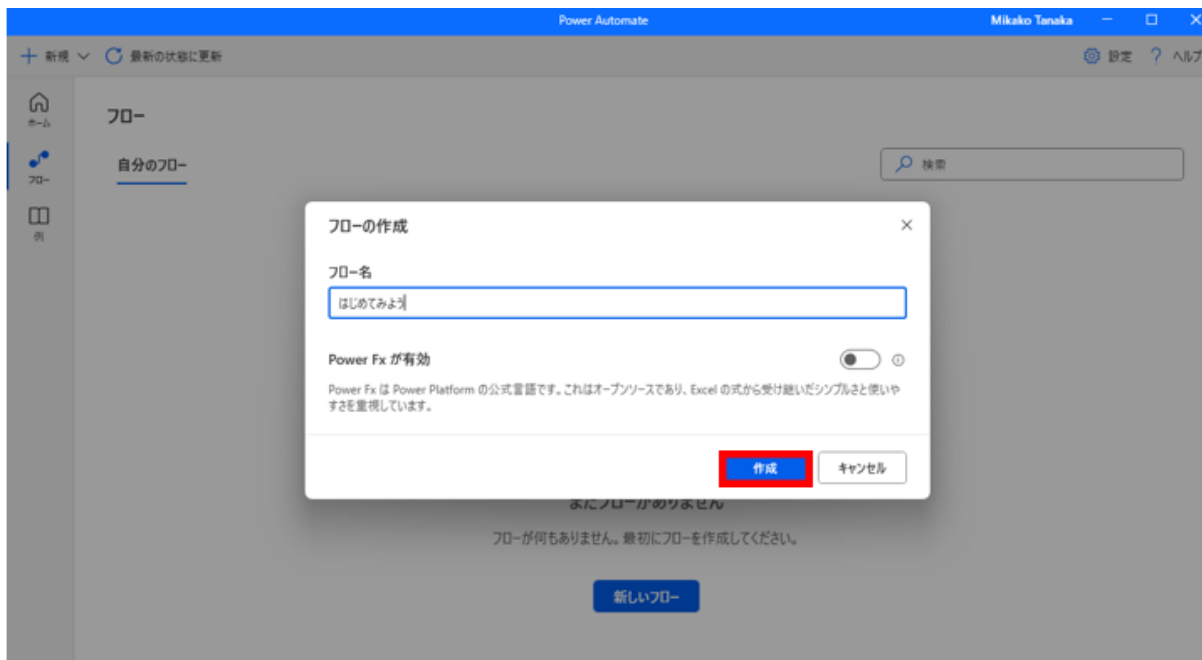
Power Automate を起動してサインインするところから確認していきましょう

はじめて起動する場合は、まずサインインが求められます。Microsoft アカウントのメールアドレス（アカウント名）とパスワードを入力して進めていきます。

○ Power Automate のフロー作成の操作を確認する

PowerAutomate の画面が開いたら、次は Power Automate コンソールから 1 つひとつの自動化手順のまとめとなる「フロー」を作っていきます。

[新しいフロー]を押下します。その後、表示されたフローの作成サブウィンドウにフロー名：「はじめてみよう」と入力して[作成]ボタンを押下します。

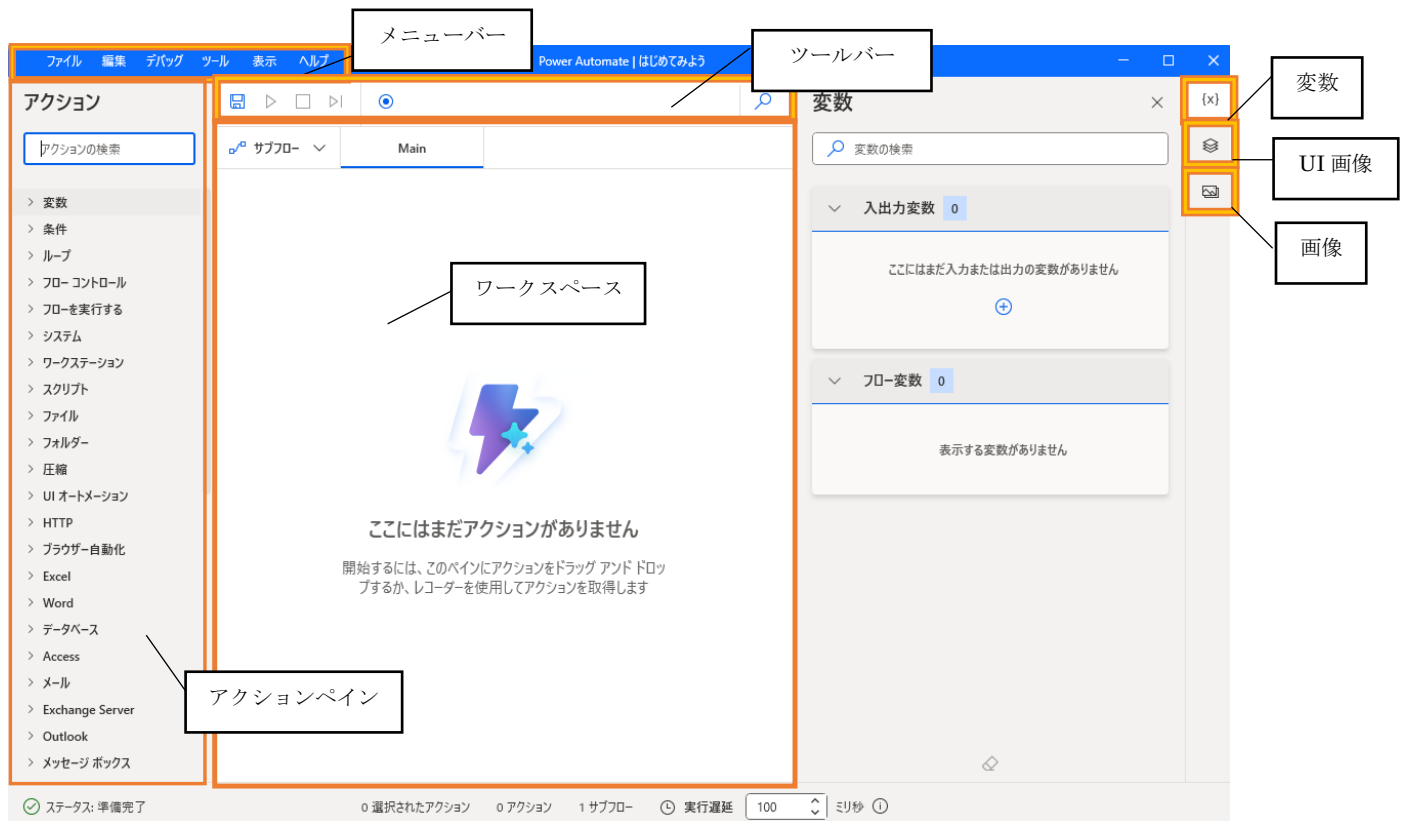


すると、Power Automate のコンソール画面上に「はじめてみよう」というフローが作成されます。

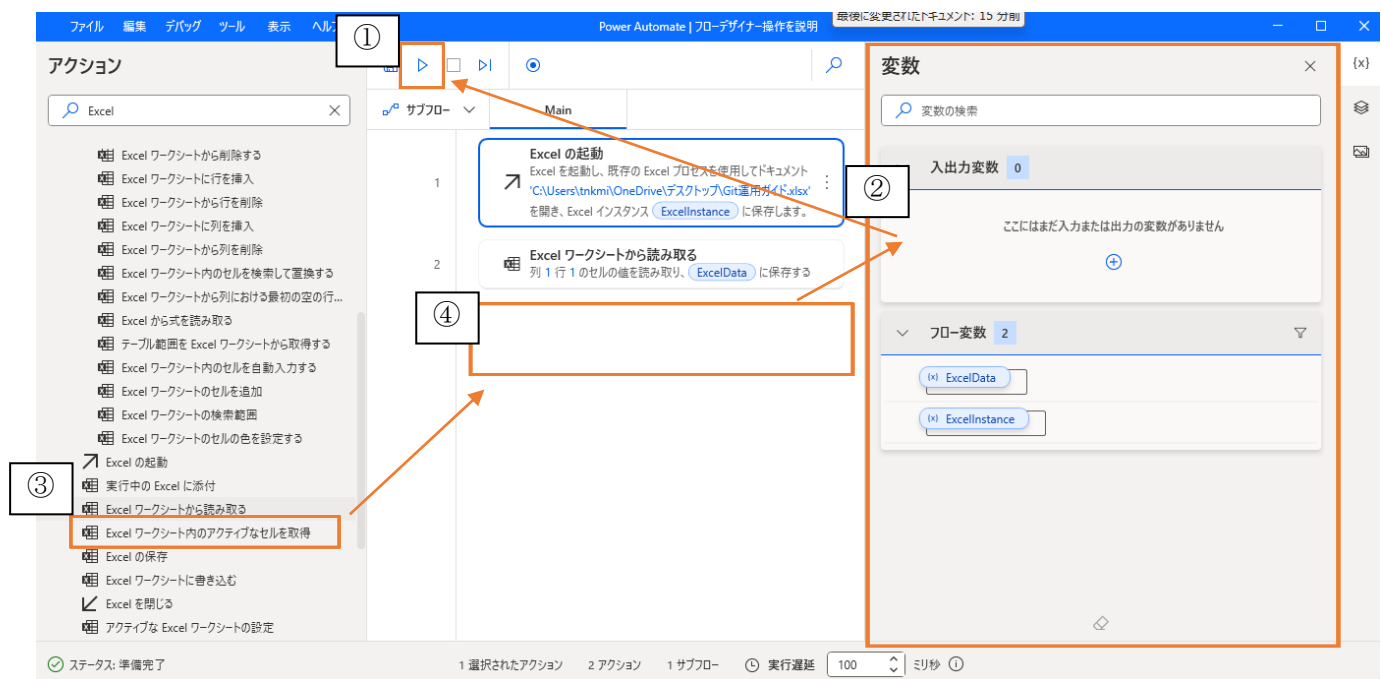


また、自動でフローを作成するフローデザイナーも起動されます。

業務を自動化する際には、アクションの一覧から該当の操作を探し、そのアクションをワークスペースへドラッグ&ドロップしてフローを組み立てていきます。



フローデザイナーの基本的な操作方法は以下の手順になります。



フローデザイナーの基本操作（手順）：

- ① アクションペインで動作に対応するアクションを選択する
- ② アクションをドラッグ&ドロップでワークスペースに配置し、フローを並べる
- ③ 変数/UI 要素/画面パネルで、ワークスペースに登録したアクションの動作の細かい調整や設定変更
- ④ ワークスペース上にある「実行」ボタンで動作テストをする

（練習問題）

○ PowerAutomate の基礎 ～問題演習～

それでは、実際に資料をダウンロードして、PowerAutomate 基礎の演習問題を解いていきましょう。

	A	B	C	D	E	F	G
1	PowerAutomate基礎編						
2			※該当のシートに移動するには、問題番号のハイパーリンクを押下				
3							
4	問題番号	シート名	内容				
5	No1	フローの作成	「こんにちは！」とメッセージ表示するフローを作成する				
6	No2	フロー図を基に自動化	メモ帳を起動し、「あいうえお」と入力するフローを自動化する				
7	No3	レコーダーで自動化	電卓で「10+25=」という操作をレコーダー機能を使って記録				
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

演習サマリ | フローの作成 | フロー図を基に自動化 | レコーダーで自動化 ...

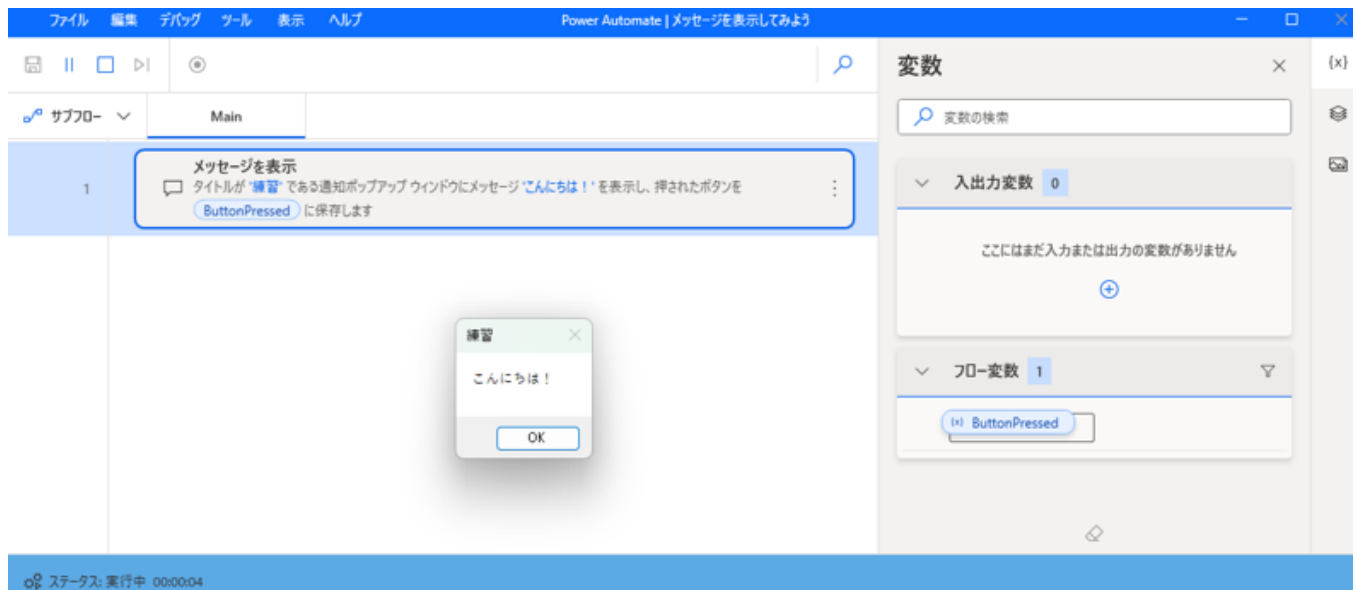
まずは、Power Automate for Desktop を立ち上げて、「こんにちは!」とメッセージ表示するフローを作成していきましょう。

問題 1: フローの作成

Power Automate のコンソール画面上に以下のフローを作成してください。

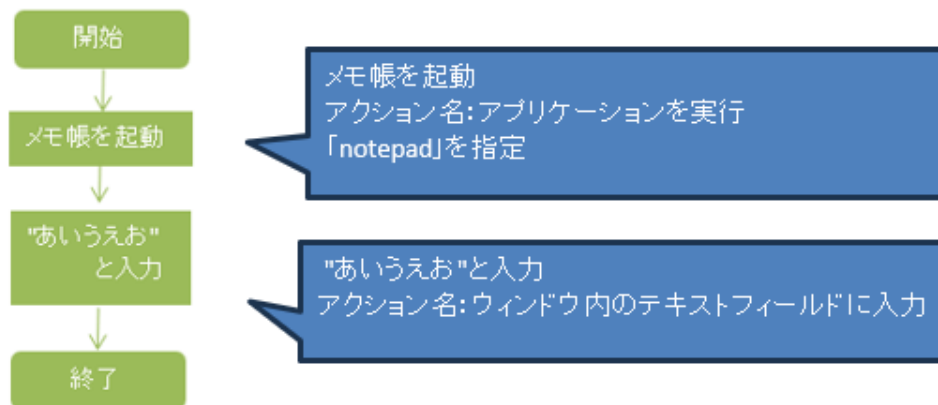
フロー名:	メッセージを表示してみよう
メッセージボックスのタイトル:	練習
表示するメッセージ:	こんにちは！

メッセージボックスのアクション設定を行い、ワークスペースの上の「実行」ボタンをクリックして「こんにちは！」と表示されることを確認してください。



問題 2：フロー図を基に自動化

Windows のメモ帳を起動し、メモ帳に「あいうえお」と入力するフローを PowerAutomate で自動化してみましょう。



問題 3：レコーダーで自動化

電卓を起動し、「10+25=」という操作を PowerAutomate のレコーダー機能を使って記録し、実行して確認してみましょう。

電卓を起動後、フローデザイナーのツールバーにある「レコーダー」ボタンをクリック



レコーダーで記録されたアクションを、電卓を起動後の状態にした後、実行して確認してみましょう



今回の内容はいかがだったでしょうか。実行しながら動作確認できると面白いなと感じて頂けた方もいらっしゃるかもしれません。自分にできる範囲のものから少しずつ PowerAutomate にも挑戦してみようかなと思っただければ幸いです。

以上となります。

参考文献：

藤澤専之介, 白瀬裕太『パソコン仕事が一瞬で片付く PowerAutomate 超入門』SB クリエイティブ株式会社 (2023 年)